



KP34



外観

## 『コンセプト』

### ■のびのびと開放的に暮らせる家

西側にデイサービス施設があり、北側に公園がある立地条件から、人の騒ぎ声や視線が気になる環境といえます。

また、敷地北西二面が接している農道は、住宅街の裏道になっているため、散歩の人や不特定の人が抜け道として利用しています。

そのような敷地条件・周辺環境でありながら、開放的でのびのびと暮らせる住環境を計画しました。



2階LDK

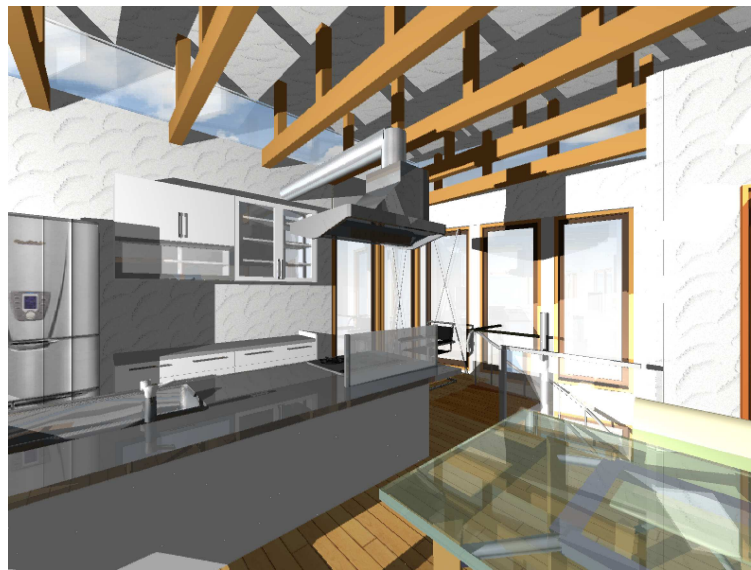
### ■建物と切り離され空中に浮かぶ屋根

LDKの天井は小屋裏を現しとし、四周をガラス張りとすることで、青空が見える開放的な空間をつくりだします。

また、降り注ぐ陽の光が、小屋梁や小屋束の間から落ちてきて、まるで木漏れ陽のような心地よさを演出します。



2階LDK キッチンから眺める



2階LDK ダイニングから眺める



2階LDK リビングから眺める

## ■家族が集い寛ぐ空間を2階に

デイサービス施設は、面している部分は平家ですので、LDKを2階に配置することで視線から切り離しました。

LDKが地上から切り離されることで、周辺環境から独立したプライベート空間を実現します。



屋上テラスを見下ろす

## ■広い屋上テラス

バルコニーよりも広い屋上テラスを設け、周囲を壁で遮ることで、コートハウスのような周囲を意識せずのびのびと過ごせる屋外空間をつくりました。

洗面脱衣室と浴室は、敷地の外に面して窓を設けなくても屋上テラス側に窓が設けられることで、防犯性を高めています。

浴室はゆったりと露天風呂気分が味わえます。

屋上テラスは、洗濯物や布団を気兼ねなく干すことができます。



屋上テラス



2階畳コーナー（子供部屋）

## ■お子様の成長に合わせた柔軟性のある間取り

2階リビングと一体的な畳コーナーは、お子様が小さいうちは家族そろって就寝する寝室として。お子様が成長すると、1階と2階が階段で繋がるメゾネット形式の子供部屋として。

お子様が親元を離れ自立すると、2階畳コーナーは応接室やリビングの延長として。

1階子供部屋は主寝室に隣接する書斎として。

畳コーナーは引戸で仕切ります。戸は取り外して、収納にしまっておくことで、開放的な部屋として使用できます。



1階子供部屋

## ■親子関係への配慮

子供部屋はLDKを通らないと入れない間取りになっています。学校から帰宅して親子が顔を合わせる時をつくります。

また、子供部屋は4畳半と狭めに設定し、LDKを広く開放的にすることで、自然とLDKに居たくなる雰囲気をつくります。

就寝時の子供たちの安全性を考え、子供部屋が閉鎖的になりすぎず、主寝室から気配が感じられるように配置しました。

主寝室と子供部屋を仕切る建具は、ロック付きとすることで、主寝室の独立性を確保します。



前面道路からの眺め

## ■庭スペースを最大限確保

駐車場を建物内に取り込むことで、庭を最大限確保しました。

子供たちの遊び場として、ガーデニングや家庭菜園を楽しむ場として、十分な広さを確保します。



玄関アプローチ部分

